

令和4年度 第1回 草加市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和4年4月22日(金) 午前10時から

2 開催場所

中央公民館 第1・2講義室

3 出席者の氏名

- (1) 委員 草加市 小谷 明 委員(会長)
東武バスセントラル(株) 深津 光市 委員
朝日自動車(株) 田沼 健一 委員
国際興業(株) 久武 雅人 委員
(一社)埼玉県バス協会 関根 肇 委員
(一社)埼玉県乗用自動車協会 三上 秀樹 委員
草加市タクシー協議会 吉田 隆彦 委員
草加市町会連合会 浅井 喜久男 委員
(旧)草加市連合婦人会 大谷 久美子 委員
(福)草加市社会福祉協議会 馬場 博 委員
(福)草加市社会福祉事業団 下国 季樹 委員
国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 細野 桂一 委員
東武バス労働組合 草加分会 浅原 努 委員
草加警察署 高津 善太 委員
東京理科大学元教授 内山 久雄 委員
埼玉県企画財政部交通政策課 伊藤 太佳博 委員
- (2) 欠席者 草加商工会議所 山崎 修 委員
草加市すこやかクラブ連合会 小暮 徹 委員
東武鉄道(株) 小瀧 正和 委員
- (3) 事務局 草加市 福島市民生活部長
草加市 菅沼市民生活部副部長
草加市 田口交通対策課長
草加市 柴田交通対策課課長補佐
草加市 南雲交通対策課交通政策係長
草加市 上田交通対策課交通政策係主事
草加市 家崎交通対策課交通政策係主事
(株)東京建設コンサルタント 佐藤氏 小安氏
- (4) 傍聴者 なし

4 会議の議題

報告（１）令和３年度 パリポリくんバス状況報告

報告（２）令和３年度実施の新田ルートアンケート調査の結果について

議事 パリポリくんバス新田ルートの運賃改定について

その他 今年度の議事内容について

5 配布資料

- ・次第
- ・資料－１「パリポリくんバスについて」
- ・資料－２「パリポリくんバスアンケート調査結果」
- ・資料－３「パリポリくんバス新田ルート運賃改定について」
- ・資料－４「令和４年度草加市地域公共交通会議の議事内容」
- ・参考資料「朝日自動車運賃改定のお知らせ（ホームページ抜粋）」
- ・参考資料「草加市地域公共交通会議委員名簿」

6 委員会運営に当たっての諸事項

- ・本委員会の録音及び会議録の署名、公開について委員の了承を得た。

7 提案等

- ・本会議から学識経験者として参加いただく内山久雄委員を副会長としていただく提案があり、委員の承認を得た。

8 会議録の署名について

- ・会議録の署名委員については、名簿順に持ち回りで会長、副会長と、代理の方を除いて上と下から１名ずつ指名させていただくことになっているため、草加市タクシー協議会の吉田委員と草加市社会福祉事業団の下国委員が署名委員の指名を受け、委員の承認を得た。

報告（1）令和3年度 パリポリくんバス状況報告

- ・草加市内のバス路線網、交通不便地域、コミュニティバスの運行状況について説明した。
また、南西ルートของバスを乗り間違い防止の目的でピンク色のラッピングを行ったことを説明した。
- ・北東、南西ルートは平成28年から試験運行を開始し、令和3年4月から本格運行を開始したが、新型コロナウイルスの影響で利用が落ち込んでいることや利用の少ない地域での再編検討が必要なことが課題となっていることを説明した。
- ・新田ルートは、令和2年から試験運行を開始したが、利用が伸び悩んでいることが課題となっていることを説明した。
- ・北東、南西、新田ルートのそれぞれの利用者数と収支率の推移を確認し、令和3年時点では各ルートにおいて、設定ラインである収支率50%を達成できていない状況であることを確認した。特に新田ルートは収支率が10%前後と低い水準となっていることを説明した。

会長（小谷会長）

- ・現在の利用状況について説明がありました。いずれの路線もコロナの影響を受けて、平常時の状況を把握するのは難しいですが、これからどのように増加に転じさせていくか皆様からご意見等があれば伺いたいのですが、いかがでしょうか。

バス協会（関根委員）

- ・収支率について、コロナの関係で減ったとあるのですが、昨今かなり燃料費が高騰しておりまして、今後は注視していかないと収支率に大きな影響を及ぼすかと思ひます。今後燃料費についても考慮していただいた方が良ひのかなと思ひます。

事務局

- ・おっしゃる通り、ガソリンや石油以外にも電気料金も増加しており、市としても注視しておりますので、今後どういった改善ができるか検討させていただいております。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。1点資料の方で補足ですが、北東ルートと南西ルートで収支率が50%となっているのですが、実際は南西ルートの方が1便あたりは人が乗っている状況です。ただ、収支率にすると南西ルートの方は運行距離が長いため、経費がかかり、50%に達しないということになります。そのため、南西ルートの方が人は乗っているのですが、北東ルートの方が収支率は良いということになります。他にいかがでしょうか。

副会長（内山副会長）

- ・内山と申します。初めて参加させていただいて意見というものもあるのですが、収支率のボーダーラインが50%という事でしたが、この50%ラインというのはどのように決められたのでしょうか。例えば松戸市では確か40%となっています。収支率が、「議会決定で決

まったため、50%です」等の説明ですと、住民やバス事業者を含め、疑問が残ってしまうかと思います。また、先ほどありましたとおり、燃料費が高騰しているという現状もあります。こういった状況では補助額を50%ではなく40%まで補助しますなど情勢と連動したような対策も考えられるかと思いました。

事務局

- ・ご意見ありがとうございます。現状の補助の考え方を説明させていただきます。50%のラインは設けているのですが、新型コロナウイルスの影響で収支率は落ちている状況でございます。おっしゃる通り、50%を補助の上限としてしまうとバス事業者の方に負担をしていただくことになってしまいますため、現在は50%に対して満たない部分に関しても全て補助させていただいているという状況になります。また、2つ目として、50%の設定の考え方として、他自治体のコミュニティバスを参考にしながら地域公共交通会議の中で皆様のご意見を頂きながら決定させていただいた経緯がございます。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。それでは次の議題に移らせていただきます。

報告（２）令和３年度実施の新田ルートアンケート調査の結果について

- ・新田ルートは運行当初から利用が少なく、収支率 50%を達成することが困難であると考えられる状況であったため、地元町会自治会協力のもと新田西部ブロック全世帯に対し、アンケート調査を実施したことを説明した。
- ・アンケート調査結果を説明し、特に以下に示す 4 つの課題が浮かびあがった旨を説明した。
 - ①病院利用については、アクセス時間がかかる。
 - ②駅への利用について、駅から遠い地域は路線バスを利用するため、パリポリくんバスを利用しない。
 - ③駅への利用について、駅から近い地域は車や徒歩で十分なため、パリポリくんバスを利用しない。
 - ④商業施設の利用について、車や徒歩・自転車等で十分とする意見が多く、パリポリくんバスのルート改善等で利用者の増加を図ることが難しい。

会長（小谷会長）

- ・住民へのアンケート結果という事で説明がありました。何かご意見がありますでしょうか。コロナが始まってから運行を開始したという事だったのですが、やはり利用が低いという現状があります。現在実証実験中という事ですので、改善をしていかなくてはならないという状況もあり、今回住民へのアンケートを行ったというところです。

また、先ほども説明があったかと思いますが、新田駅の東西口で区画整理事業を行っています。今後 2～3 年で、駅前広場ができたり、お店ができたりと変わっていくことも考えられます。他にも獨協大学に西口では UR が開発を行っておりまして、公共施設や商業施設、大学施設、戸建て住宅などが出来ていくことが考えられます。こういった環境の変化があるかとは思いますが、それまでに市として、新田ルートの利用促進はしていきたいと考えております。
- ・また、何かございましたらご意見など頂ければと思います。こちらの議題はひとまず終わりとさせていただきます。

議事 パリポリくんバス新田ルートの運賃改定について

- ・草加市のコミュニティバスは、既存路線バスを補完する目的で運行しているため、既存路線バスの運賃改定に伴って新田ルートの運賃を改定する旨を説明した。

会長（小谷会長）

- ・新田ルート運賃改定についてご説明頂きました。新田ルートの利用が少ないという状況の中で、本来であれば運賃の方も安くしたいという思いはありますし、運賃が上がることで利用減につながってしまうかもしれないという懸念もあるのですが、コミュニティバスの基本的な考え方として、既存の路線バスには絶対に影響を与えない、というものがあります。これは本市のコミュニティバスの定義でもありますし、このようにするのが正しいものであると思います。そのため、利用者の方にはご理解いただき、周知をしていきたいと考えております。
- ・他にはよろしいでしょうか。それでは運賃改定についてはこれで進めさせていただくという事でよろしいでしょうか。

一同

《承認》

その他 今後のスケジュールについて

- ・令和4年度の主な議事内容について、以下のことを予定している旨を説明した。
 - ①パリポリくんバス（新田ルート）の改善・利用促進の実施
 - ②草加市公共交通再編計画の総評・地域公共交通計画の策定（改定）
 - ③パリポリくんバス北東・南西ルートの利用状況のモニタリング、改善の検討
 - ④その他（新田駅東口ロータリーの暫定供用に伴う、新田駅発着路線の乗り入れ、公共交通の利用促進策の検討）

事務局

- ・質疑等がありましたらお願いいたします。

副会長（内山副会長）

- ・本日のお話を通して、いくつか気になる点がありましたので申し上げさせていただきます。まず、新田ルートの利用者が2~3人程度である理由の一つに新田駅に行くまでに時間がかかるという話がありましたが、つまり、既存の路線バスが普通に駅までのサービスを展開しているのに対し、パリポリくんバスはぐるぐると迂回してくるのが大きな理由かと思いました。そもそも既存の路線バスは新栄団地と駅をシャトルで結ぶ機能を持っていて、それは路線バスの使命と言えます。その使命をパリポリくんバスが担うという事自体がおかしな話で、コミュニティバスと路線バスの役割分担ができていないという事ではないでしょうか。そのため、パリポリくんバスを駅まで利用させるということは難しい話となります。

また、ルートが長いという問題が何故発生したかということ、利用者目線になっていないという事ではないでしょうか。当然いろいろな利用者がいますため、全ての意見を聞くとこのようなルートになってしまうかと思います。一般的な話としては、コミュニティバスは交通弱者のための交通手段になるはずで、つまり、交通弱者にとっての利用という視点の方が大事かと思います。例えば高齢者の人口分布図の濃淡図があれば、この図の濃いところをルートが通っているのか、そういうチェックも必要でしょう。高齢者人口が多いところをつなぐようにルートは通らなくてはなりません。

今言った2つのこと。既存路線バスはシャトル運行専門とし、コミュニティバスはそれを補完するように目的に応じた役割を分担すること。そして、交通弱者が多く住んでいる場所をルートとして通っているか、そのチェックが必要であること。

また、この2つ以外にも、必要な視点があります。

いまの仕組みを見ているとバス事業者の努力というものがどこにも入らないと思います。少し失礼な言い方になってしまいますが、バス事業者さんの方は黒字でなくても良いということになってしまうということです。何故かといいますと赤字になっても市が補填してくれるからです。このようなシステム上の問題がありますので、バス事業者の経営努力が入るような仕組みにしないといけないと思います。

事業者さんが悪いと言っているのではなく、システム的な問題があるという事です。東武バスさんも朝日自動車さんもやっていて面白くなるような仕組みづくり、経営努力が実るような仕組みが必要かと思えます。

もう1つ、最後になりますが、ルートについては、色々な自治会からの要望があつてこのようになっているのかと推察しています。経緯の方は把握できていないので予測ですが。これについてですが、要望する方は勝手であるということ視野に入れておいて欲しいと思います。というのも、要望した側は責任がないという事です。要望したからには、バスがルートを通ったら協力して乗るということが必要かと思えますが、そういうことがないということです。これは地域側にも責任があるということです。乗らないのであれば、要望しない、そういう風にしないとおかしいことになってしまいます。

4つのことを言わせていただきましたが、このようなことを考えないと良い公共交通体系というのはできないと思えます。少し厳しいことを言いましたが、このような観点で検討していただけたら良いかなと思えます。

事務局

- ・貴重な、厳しいご意見を頂きましてありがとうございます。担当課の方から説明できることについては、ご説明させていただきます。ルートにつきましては、再編計画の中で高齢者の分布図を作成しており、それを基に分析してルートの方を作成しております。また、今頂いた色々なご意見につきましては、次期計画の策定の中で、公共交通の適正なあり方を模索しながら、検討していきたいと考えております。

(旧) 草加市婦人連合会 (大谷委員)

- ・内山先生のおっしゃることは非常によくわかります。交通が不便な方はバスが欲しいと要望することも多いかと思えます。ただ、本当に必要なのは、既存のバスで行ける駅に行くことではなく、病院に行くことだと思います。あと、皆さんに会いたくてコミュニティセンターに行きたいのだと思います。そういった箇所を短く運行できるような形をとればもっと多くの方が利用してくれると思います。私は、この交通会議の場に出席させていただいているので、バスが通るたびに、ありがたいなと思えますが、普通の人はこのことを知りません。どれだけ一生懸命会議をしているかもわかりません。バスが勝手に通っているな、くらいにしか思っていないと思います。こういった会議を行っているということももっと公表すれば良いと思います。新田ルートは若い方が多くて難しい面もあるかもしれませんが、でも市立病院や獨協大学を使ってみましょうということになればまた可能性は広がると思います。私は、バスもタクシーもなるべく使うようにしています。やっぱり大切なのは、お互いに、ということだと思います。ルートを作ってくれたら、ありがとうだけでなく、利用しなかったら意味がないという事をいろんな人に周知していくべきだと思います。

事務局

- ・ありがとうございました。今後、計画の見直しも予定しておりますので、定義や駅までの見直しなどを含めて計画の見直しに着手させていただきたいと思っています。他にはございますか。

副会長（内山副会長）

- ・本日はタクシー協会の方にも来ていただいておりますが、運賃改定でバスが値上がりするという件については、関係してくるかと思えます。もし、タクシーが500円で、二人乗りをした際に一人250円となっていて、コミュニティバスが二人で利用したとき500円以上という場合であれば、当然タクシーを利用するかと思えます。このように、他の公共交通という観点も重要で、バスの運賃が値上がりするという事であれば、タクシーについても同様のことを考える必要があると思えます。バスだけ値上がりして、タクシーの料金が変わらなければ、利用者はタクシーを使います。本日は運賃の変更のお話がありましたので、このような事業者間の観点も重要かと思うと付け加えさせていただきます。

（一社）埼玉県乗用自動車協会（三上委員）

- ・内山先生からご指摘がありましたように、バランスをとった運賃で進めていただければありがたいとは思っております。草加市内は特にバスが発達しており、タクシーは少し置いていかれているかなとも思っております。他の市町村ではデマンド、パリポリくんバスよりも少し小さな車両で運行する方法、65歳以上の方へのタクシーの補助券など行っているところもあります。タクシー業界としては、運賃の件もそうですが、このようなところでもお手伝いさせていただければと思っております。

国際航業(株)（久武委員）

- ・当社は草加市ではコミュニティバスは運行しておりませんが、色々な自治体でコミュニティバスの方を運行しております。ここにあったら乗るなどについては、自治体の方や、住民の方が、有力な情報を持っていることが多かったです。事業者からすると、このようにすると経費が下がるということを提案させていただいて、それで収支率を改善するということはよくあります。また、草加市のコミュニティバスは少し独特で、市立病院に直通で行けるということを方針に挙げていて、これは他の自治体にない、素晴らしいことだと思います。ただ一方で地域公共交通計画では、より効率的な路線を作ろうという流れがあり、もしかしたらその流れに離反するかもしれません。我々事業者は色々なお客さんを見ています。当然病院まで乗り継ぎはしたくないという人も見ていますし、逆に、迂回して40分くらいかかるからトイレなどで途中下車してしまうので嫌だ、途中で乗り換えてでも確実に行けるルートが良い、という意見もあります。そのため、計画の中で病院に直通で行けるということを方針とした経緯を教えてくださいたいと思います。

事務局

- ・ご意見ありがとうございます。市立病院へのルートについては、計画策定時、広く市民の皆様からアンケートの中で意見を頂き、その中で多かった市立病院という意見を基に設定致しました。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・これまでのお話を聞いていて、もう少しシンプルに考えても良いのかなと感じました。コミュニティバスのルートについても非常に専門的な知識を用いて議論されているかとは思いますが、ただ、長距離を迂回するというのは高齢者の体力的にも厳しいものがあると思います。そして何が一番便利なのかと言えば、やはりタクシーだと思います。ただ、お金はかかります。なので、シンプルに補助券を出すなども考えられるのではないのでしょうか。内山先生から頂いたご意見もありましたが、タクシーとしてもこういったことでお手伝いできるかと思いました。

副会長（内山副会長）

- ・高齢者は、足腰が弱くなると外に出なくなり、いわゆる引きこもりの状態になってしまう事があります。自分の息子や娘に頼めなかったりして、病院に行けなかったりするので、そこに、1時間に1本でもバスがあつて、病院に行ければ少なくとも引きこもりではなくなります。そういった精神的な健康にも役に立つという話もありますので、収支率だけで厳しく見るというのも考えもので、パリポリくんバスのおかげで引きこもりがこれだけ減りました、といった調査も重要です。このような観点も大切かと思いました。

事務局

- ・他にはよろしいでしょうか。特にご意見等が無いようでしたら、会議の方は以上になります。ありがとうございました。

【当日の会議の様子】



署名欄

吉田 隆彦 

下国 季樹 